

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題3）
-小児保健医療水準の維持・向上させるための環境整備-

団体名	17年度の取り組みテーマ	17年度の取り組み実績	18年度の取り組みテーマ	18年度の取り組み行動計画
社会福祉法人 恩賜財団母子愛育会	2,3,9,10,19,26,50,51,52,53,58,60,61	「母子保健専門指導員研修会」 リプロダクティブヘルス 母子保健サービス 子育て支援 目的・内容:母子保健の課題と最新情報の修得、問題点の的確な把握及び対応能力の向上 対象:自治体勤務の保健師、助産師、看護師等母子保健関係者、～ 合計62名 開催数:3回 効果:母子保健専門指導者の育成ができた。	2,3,9,10,19,26,50,51,52,53,58,60,61	「母子保健専門指導員研修会」 リプロダクティブヘルス 母子保健サービス 子育て支援 目的・内容:母子保健の課題と最新情報の習得、問題点の的確な把握及び対応能力の向上 対象:自治体の保健師、助産師、看護師、母子保健関係者(定員50名) 開催(配布)予定数:3回
	50,51,52,53,55,67	「児童虐待 予防と発見 発見と対応」 目的・内容:児童虐待を引き起こす要因の把握と予防対策 対象:保健師、看護師、助産師等91名 小児科医、産婦人科医等20名 開催数:2回 効果:医療、保健の現場での予防と早期発見のポイントについて習得した。	(詳細未定)	「地域母子保健と保健師活動」 目的・内容:母子保健の課題、情報等から保健師活動を考える 対象:自治体の保健師(定員50名) 開催(配布)予定数:1回
	34,43,44,51,55,60,61	「乳幼児健康診査と育児支援」 目的・内容:乳幼児健診に必要な知識の修得 対象:自治体の保健師、助産師、看護師80名 開催数:1回 効果:乳幼児健診の基本と健診現場での育児支援の方法について知識を深めた。	34,43,44,51,55,60,61	「乳幼児健康診査と育児支援」 目的・内容:乳幼児健診の基本を学ぶとともに、育児支援、生活支援の場としての健診のあり方を考える 対象:自治体の保健師、助産師、看護師 開催(配布)予定数:1回
	27	「周産期における倫理を考える」 目的・内容:医療、福祉、法律等分野からの情報により周産期における生命倫理に関する理解を深める 対象:医師、看護師、助産師、保健師、福祉、教育関係者 33名 開催数:1回 効果:周産期における生命倫理について理解し考察した。	39,40,43,44,55,60,61	「乳幼児保健」 目的・内容:育児、保育に必要な知識、育児支援の方法を学ぶ 対象:保健師、助産師、看護師、保育士ほか 開催(配布)予定数:1回

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題3）
-小児保健医療水準の維持・向上させるための環境整備-

団体名	17年度の取り組み テーマ	17年度の取り組み実績	18年度の取り組み テーマ	18年度の取り組み行動計画
	51,52,55	「保育関係者のための母子保健セミナー」 目的・内容：集団の中での子どもの健康管理や育児支援に必要な知識の修得 保育所の対象：保育士、保健師、看護師等47名 開催数：1回 効果：保育所等集団の中で乳幼児の健康管理、また親とのコミュニケーションのとり方について具体的に学んだ。	51,52,59	「低出生体重児の成長と支援」 目的・内容：低出生体重児の成長で起きやすい問題、家族への支援について学ぶ 対象：保健師、看護師、保育士ほか 開催（配布）予定数：1回
	51,52	「乳幼児期に見られる問題行動」 目的・内容：乳幼児の発達過程における諸問題の把握と原因について理解を深める 対象：保健師、看護師、保育士等41名 開催数：1回 効果：乳幼児期の発育発達の基本と共に「問題」とされる行動の背景と援助のあり方について学習した。	34,63	「子どもの食生活と地域栄養活動のマネージメントー食育を中心に」 目的・内容：子どもの栄養、食生活、特に食育に関して、地域栄養活動や栄養士の役割について考える。 対象：自治体の栄養士 開催（配布）予定数：1回
	51,52,59	「低出生体重児の成長とその支援」 目的・内容：低出生体重児、極低出生体重児の成長過程における問題点の把握と援助のあり方を学ぶ 対象：保健師、看護師、保育士等78名 開催数：1回 効果：低出生体重児、極低出生体重児の成長過程における問題点を知り、その援助の方法を学んだ。		「母子栄養講座」 目的・内容：（詳細未定） 対象：自治体、保育所等の栄養士 開催（配布）予定数：1回
	39,40,43,44,55,60,61	「乳幼児保健」 目的・内容：乳幼児の発達の基本的な特徴、疾病等に関する育児、保育に必要な知識の修得 対象：保健師、看護師、助産師、保育士、指導員、子育て事業関係者 66名 開催数：1回 効果：乳幼児の発育発達、疾病、育児支援のあり方等についての基本を学習した。		「周産期における倫理を考える」 目的・内容：（詳細未定） 対象：医師、助産師、看護師ほか 開催（配布）予定数：1回

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題3）
-小児保健医療水準の維持・向上させるための環境整備-

団体名	17年度の取り組み テーマ	17年度の取り組み実績	18年度の取り組み テーマ	18年度の取り組み行動計画
	63,64	「子どもの食生活と地域栄養活動のマネージメント」 目的・内容：地域における栄養活動の方向性と栄養士の役割を理解し、食育への取り組みを検討 対象：栄養士28名 開催数：1回 効果：子どもの食生活を通して、広がりつつある地域栄養士の役割を認識し、資質向上への意欲を高めた。		「先天性代謝異常症等検査技術者研修会」 目的・内容：新生児マススクリーニングについて総合的に学び、検査の質の向上を図る 対象：検査技術者 開催（配布）予定数：1回
	51,63	「生活習慣病をめぐって」 目的・内容：生活習慣病の基礎的知識や最近の動向を修得し、食習慣、生活習慣に係わる問題について、栄養士としての役割について考える 対象：自治体や保育所等に勤務する栄養士59名 開催数：1回 効果：乳幼児期から妊産婦までそれぞれのライフステージと生活習慣病の関係、栄養指導の方法について学んだ。		日本子ども家庭総合研究所における研究活動 目的・内容：子ども家庭福祉・母子保健・虐待防止・子どもの心の問題をテーマに研究を行う。
		「先天性代謝異常症等検査技術者研修」 目的・内容：先天性代謝異常症に対応したマス、スクリーニングのあり方等に関する知識と高度な技術の修得、先天性副腎過形成症のスクリーニング方法及び個人情報保護に関する理解を深める対象：先天性代謝異常症等検査担当技術者 43名 開催数：1回 効果：新生児のマススクリーニング関係者が講義、討議をとおして意識と知識をレベルアップさせた。		情報提供 目的・内容：子ども家庭福祉に関する各種情報の提供（「愛育ねっと」による情報提供を含む）「母子保健情報」の発行（年2回） 日本子ども家庭総合研究所図書館で所蔵する子ども家庭福祉、母子保健領域の図書資料の閲覧 対象：子ども家庭福祉関係の機関、研究者等母子保健関係の機関、研究者等希望者

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題3）
-小児保健医療水準の維持・向上させるための環境整備-

団体名	17年度の取り組み テーマ	17年度の取り組み実績	18年度の取り組み テーマ	18年度の取り組み行動計画
	17,18,22,24,28,29,30,47,51,52,58,59	<p>「周産期医療研修会」 医師コース 看護コース 目的・内容：医師、看護師・助産師に対して新生児、未熟児の診断、治療、看護等の最新の理論と技術、情報を提供 対象：周産期医療に従事している医師、看護師、助産師 医師 83名、看護師 203名 開催数：医師コース1回 看護コース3回 効果：産科、新生児科の医師が、または看護師が共に学習し討論することで、周産期関係者全体の資質を向上させた。これまで受講した研修生は現在全国各地の周産期医療を担っている。また周産期関係者のネットワークづくりの場ともなってきた。</p>		
		<p>日本子ども家庭総合研究所における研究活動 目的・内容：子ども家庭福祉・母子保健・虐待防止・子どもの心の問題をテーマに研究を行った。 効果：（紀要等に成果を発表）</p>		
		<p>情報提供 目的・内容：子ども家庭福祉・母子保健に関する各種情報収集、提供 ・ウェブサイト「愛育ねっと」 ・「母子保健情報」の発行 対象：子ども家庭福祉、母子保健関係者（機関、研究者等） 効果：日本子ども家庭総合研究所が所有している国内外の子ども家庭福祉関係及び母子保健関連の情報を提供することにより、より高度な知見が得られ厚生行政に寄与することが期待される。</p>		
子どもの心・体と環境を考える会	その他	<p>研究会誌「子どもの健康科学」第5巻2号発行 目的・内容：第3回テーマ別研究会（「ストレスマネジメント教育」「軽度発達障害」）について、演者が論文化した研究会誌を作成 対象：本会会員（医療・教育・福祉・その他の多分野に及ぶ）に配布。一部の図書館に謹呈 配布数：350部を発行、配布 効果：現場で実施されている教育や対応について、認識を高めることができた</p>	48,49	<p>テーマ別研究会の開催 目的・内容：平成18年6月24日（土）第4回を開催（テーマは「学童・思春期の問題と不登校はこう解決する」「保健室での実践活動」「教育相談室での実践活動」「校外相談室での実践活動」）。平成18年10月7日（土）第5回を開催予定（テーマは子どもの発達と異常への挑戦） 対象：本会会員と非会員。医療・教育・福祉・その他の多分野から、各回50人の参加を見込んでいる 開催（配布）予定数：2回</p>

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題3）
-小児保健医療水準の維持・向上させるための環境整備-

団体名	17年度の取り組み テーマ	17年度の取り組み実績	18年度の取り組み テーマ	18年度の取り組み行動計画
	49	第7回学術大会開催メインテーマ:「子どもの発達を 個体環境と社会環境から考える」 目的・内容:平成17年12月3日(土)4日(日)。奥山 眞紀子大会長(国立成育医療センター:こころの診 療部長)の下で開催。シンポジウム1つ・フォーラム1つ・セミ ナー1つ、一般演題12題等が行われた 対象:本会会員に加え、非会員も参加。医療・教育・ 福祉・その他の多分野に及び、のべ300人が参加し た 開催数:1回 効果:シンポジウム「子どもと環境 - その関係性と 発達を科学する」で、様々な立場の専門家からの知 見を得た	48,49	研究会誌「子どもの健康科学」の発行(第6巻2号・ 第7巻1号) 目的・内容:第6巻2号は『連携と組織的対応の実践 例』。「保健室での実践活動」「教育相談室での実 践活動」に関するテーマ別研究会の報告を含む予 定。第7巻1号は第8会学術大会特集を予定 対象:本会会員(医療・教育・福祉・その他の多分野 に及び)に配布し、一部の図書館に謹呈予定 開催(配布)予定数:350部を発行、配布予定
	48,49	研究会誌「子どもの健康科学」第6巻1号発行 昨年 度第6回学術大会の講演および目的・内容:シンポ ジウム(「子どもの心・体と環境をもっと健康にしよう」)について演者が論文化した研究会誌を作成 対象:本会会員(医療・教育・福祉・その他の多分野 に及び)に配布。一部の図書館に謹呈 配布数:350部を発行、配布 効果:前回大会で報告された実践や知見を、学会 誌の形で広く伝達することができた	48,49	第8回学術大会開催 目的・内容:平成18年12月16日(土)17日(日) 近 喰ふじ子大会長(東京家政大学教授)の下で開催 予定。シンポジウム・特別講演・セミナーを企画し、 一般演題も募集する 対象:本会会員と非会員。医療・教育・福祉・その 他の多分野から、のべ300人の参加を見込んでいる 開催(配布)予定数:1回
			48,49	特別支援教育コーディネーターのためのセミナー 目的・内容:平成18年11月25日(土)26日(日)に開 催予定(テーマ未定) 対象:本会会員と非会員。医療・教育・福祉・その 他の多分野から100人の参加を見込んでいる 開催(配布)予定数:1回
難病のこども支援全国ネットワーク			49	ネットワーク電話相談室 目的・内容:病気や障害のある子どもと家族から、 医療・教育・福祉に関する相談を受ける 対象:自由 開催(配布)予定数:毎週月曜～金曜11:00～15:00 03 - 5840 - 5973

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題3）
 -小児保健医療水準の維持・向上させるための環境整備-

団体名	17年度の取り組み テーマ	17年度の取り組み実績	18年度の取り組み テーマ	18年度の取り組み行動計画
			48.49	ピア・サポート活動 目的・内容：病気や障害のある子どもを育てた経験のある人が、支援を必要とする人へのサポート活動。 対象：病気や障害のある子どもと家族 開催（配布）予定数：国立成育医療センターでは火・木・金10:00～16:00、神奈川県立こども医療センターでは水・木・金10:00～15:00
			49	サマーキャンプ“がんばれ共和国” 目的・内容：病気や障害のある子と家族のQOLのために 対象：病気や障害のある子と家族 開催（配布）予定数： おーきな輪キャンプ（沖縄県北谷町7/1～2） あしがらキャンプ（神奈川県大井町8/4～6） 七夕キャンプ（宮城県蔵王町8/18～20） おいでんほうらい（愛知県鳳来町8/18～20） がんばれ共和国in九州（熊本県阿蘇町8/18～20）
			49	親の会活動を支援する 目的・内容：病気や障害のある子と家族のQOLのために、親の会連絡会、研究・研修活動、VTR製作その他。 対象：病気や障害のある子と家族 開催（配布）予定数：親の会連絡会＝4月、7月、10月、1月開催。研修会＝2月第1週に開催VTR製作＝年間5団体を募集して製作
			49	こどもの難病シンポジウム 目的・内容： 移植医療の課題 日時：平成18年6月17日（土） 場所：国立オリンピック青少年センター 参加：自由
			49	養護教諭セミナー2006 目的・内容： 病気や障害のある子を知るために 日時：平成18年11月11日（土）～12日（日） 場所：難病のこども支援全国ネットワーク研修室 参加：主に養護教諭

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題3）
-小児保健医療水準の維持・向上させるための環境整備-

団体名	17年度の取り組み テーマ	17年度の取り組み実績	18年度の取り組み テーマ	18年度の取り組み行動計画
			49	<p>病弱教育セミナー2007 目的・内容：病気療養児のより良い教育のために 日時：平成18年1月13日(土)～14日(日) 場所：難病のこども支援全国ネットワーク研修室 参加：主に病弱教育担当教員</p>
			49	<p>啓発人形劇「The Kids on the Block」 目的・内容：地域の小学校や子ども会を通じて、病気や障害のある子の理解のための人形劇を上演する 対象：対象は健常児</p>
社団法人全国保健センター連合会	17,18,19,33	<p>女性の健康エクササイズセミナー 目的・内容：女性のライフステージ(思春期・不妊・妊娠・産後・更年期等)に対応した健康づくりの基礎とエクササイズを修得するための研修会を実施する。 対象：60名 開催数：1回3コース(東京都) 効果：女性の健康づくりについての知識やエクササイズに関する技術の修得を通じ、実践の場で理論的な説明を含めた実技指導を行うことのできる指導員を養成した。</p>	17,18,19,33	<p>女性の健康エクササイズセミナー 目的・内容：女性のライフステージ(思春期・不妊・妊娠・産後・更年期等)に対応した健康づくりの基礎とエクササイズを修得するための研修会を実施する。 対象：60名 開催予定数：1回3コース(東京都)</p>
社団法人 日本医師会	44	<p>麻しん・風しん混合ワクチン導入による制度改正にともないポスターの作成・配布 目的・内容：11月号の日雑誌で配布、麻しん・風疹の予防接種率の向上 配布対象：日本医師会員約16万人 効果：麻しん・風しんの予防接種の重要性について、普及・啓発することができた。</p>	45	<p>「あなたにもできる心肺蘇生法」カードの作成・配布 目的・内容：救急の日及び救急医療週間にあわせ、国民に対する救急蘇生法の普及・啓発活動 配布先：都道府県・郡市区医師会・官公庁他 作成部数：約200万部</p>
	45	<p>「あなたにもできる心肺蘇生法」カードの作成・配布 目的・内容：救急の日及び救急医療週間にあわせ、国民に対する救急蘇生法の普及・啓発活動 配布先：都道府県・郡市区医師会・官公庁他 作成部数：200万部 効果：国民に心肺蘇生法についての知識を、普及・啓発することができた。</p>	44	<p>子ども予防接種週間の実施 目的・内容：予防接種率の向上</p>

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題3）
-小児保健医療水準の維持・向上させるための環境整備-

団体名	17年度の取り組み テーマ	17年度の取り組み実績	18年度の取り組み テーマ	18年度の取り組み行動計画
	44	子ども予防接種週間の実施 平成18年3月1日～7日 予防接種週間ポスター作成・配布 2月号の日医雑誌で配布 目的・内容：予防接種率の向上 配布対象：日本医師会会員約16万人 効果：予防接種率を向上することができた。		母体保護法等に関する検討委員会の開催 目的・内容：母体保護法をめぐる諸問題等について検討する予定 対象：委員
	22, 44, 45	乳幼児保健検討委員会を開催 目的・内容：母子保健・小児医療の充実のための具体的環境整備について検討 委員：14名 開催数：4回開催 効果：母子保健・小児医療の問題点、予防接種、小児救急医療、児童虐待等について検討がなされ、報告書が作成された。		平成18年度乳幼児保健講習会を開催予定平成19年2月25日（日） 対象：日本医師会会員 参加人数：500人を予定 開催（配布）予定数：1回開催予定
	45, 47	平成17年度乳幼児保健講習会を開催 平成18年2月19日（日） テーマ「小児医療充実のための環境整備」 対象：日本医師会会員 参加人数：457人 開催数：1回開催 効果：地域における小児救急体制の取り組みについて、認識を高めることができた。		子ども支援日本医師会宣言 目的・内容：母と子に関する医療・保健・福祉環境の整備等を推進し、次世代を担う子どもたちが心身ともに健やかに育つようにする
(社)日本家族計画協会	33,39,40	乳幼児の事故予防セミナー 目的・内容：乳幼児の事故は予防可能であり、地域で取り組むべき課題とあり、親の行動変容を促すセミナー。 対象：保健師、助産師、看護師、保育士、母子保健推進員等。30名 開催数：東京都にて1回開催。 効果：初めて事故予防の専門的なセミナーに参加した方が多く、認識が高まった。	32.33.40.50.51	ブロック別母子保健事業研修会 目的・内容：リプロダクティブ・ヘルスを中心に、女性保健・性暴力・児童虐待・子どもの事故予防等を含めた啓発教育活動を展開する。 対象：各地区の母子保健事業関係者など5会場合計750名 開催（配布）予定数：5回開催福岡県、茨城県、岐阜県、岡山県、宮崎県

**健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題3）
-小児保健医療水準の維持・向上させるための環境整備-**

団体名	17年度の取り組み テーマ	17年度の取り組み実績	18年度の取り組み テーマ	18年度の取り組み行動計画
	32.33.40.50.51	ブロック別母子保健事業研修会 目的・内容:リプロダクティブ・ヘルスを中心に、女性保健・性暴力・児童虐待・子どもの事故予防等を含めた啓発教育活動を展開する。 対象:各地区の母子保健事業関係者など。5会場合計750名 開催数:北海道、栃木県、石川県、鳥取県、長崎県にて5回開催。		
社団法人 日本看護協会	28-49	小児看護専門看護師の養成 目的・内容:複雑で解決困難な看護問題を持つ個人、家族及び集団に対して、水準の高い看護ケアを効率よく提供する。 対象:看護職で、所定の教育を修了しており、必要な実務経験がある者 効果:小児看護分野において能力を発揮できるようになった。	45	小児救急看護認定看護師の育成 目的・内容:救急外来を受診する小児患者や家族への対応だけでなく、子どもの虐待や育児力の低下している母親を支援する看護師を育成する。 対象:看護職で、必要な実務経験があり、認定看護師教育課程を修了している者
	45	研修会「子どもと家族を救う小児救急看護」の開催 目的・内容:小児のフィジカルアセスメント・小児看護に必要な主要理論とその活用・治療と看護の基本的知識・安全なケア環境・治療薬物の安全な投与・小児救急の現状と課題・危機的状況を踏まえた子供と家族へのコミュニケーション 対象:看護職(100人) 開催数:2日×1回 効果:研修参加者に普及啓発することができた。	49	研修会「慢性疾患患児の在宅療養に向けた支援」の開催 目的・内容:小児慢性疾患の病態生理・治療、小児の医療機器の使用の仕方、社会資源の活用、慢性疾患患児をもつ家族への看護等を学ぶ。 対象:看護職 定員100名 開催(配布)予定数:2日×1回
	45	小児救急看護認定看護師の育成 目的・内容:救急外来を受診する小児患者や家族への対応だけでなく、子どもの虐待や育児力の低下している母親を支援する看護師を育成する。 対象:看護職で、必要な実務経験があり、認定看護師教育課程を修了している者 効果:小児救急看護分野において能力を発揮できるようになった。		「小児慢性疾患患者の退院調整を支える看護に関する指針」の普及啓発 目的・内容:ホームページや研修会等を通して指針内容の周知徹底を図る。 対象:看護職 開催(配布)予定数:通年

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題3）
 -小児保健医療水準の維持・向上させるための環境整備-

団体名	17年度の取り組み テーマ	17年度の取り組み実績	18年度の取り組み テーマ	18年度の取り組み行動計画
	49	研修会「慢性疾患患児の在宅に向けた支援」の開催 目的・内容：病める子どもの家族の特性・家族看護理論・退院調整・外来治療・養育・情報提供・感染対策・安全教育・他職種との協働・協働の実際 対象：看護職（50人） 開催数：2日×1回 効果：研修参加者に普及啓発することができた。		研修会「がん患児と家族への看護」の開催 目的・内容：小児がんの病態生理と治療、小児がんの痛みのアセスメントと看護、患児の意思決定とインフォームドコンセント、小児がんの子どもをもつ家族への看護、ターミナルケア、グリーフケア等を学ぶ。 対象：看護職 定員260名 開催（配布）予定数：3日×2回
				研修会「小児看護におけるプレパレーション」の開催 目的・内容：プレパレーションの理論と実際、小児看護における倫理等を学ぶ。 対象：看護職 定員120名
				小児看護専門看護師の育成 目的・内容：複雑で解決困難な看護問題を持つ個人、家族及び集団に対して、水準の高い看護ケアを効率よく提供する。 対象：看護職で、所定の教育を修了しており、必要な実務経験がある者
				日本看護学会「小児看護分野」 目的・内容： ・特別講演「霊長類から見た家族と育児」 ・シンポジウム「子どもと家族の生活を支えるためネットワークする看護」 対象：看護職 定員1,300名 開催（配布）予定数：2日×1回
				「まちの保健室」活動の推進 目的・内容：「まちの保健室」における子育て支援や思春期相談等を推進する 対象：「まちの保健室」に関わる看護職 開催（配布）予定数：通年
				「看護の日」における全国イベント 目的・内容：子育て相談、父親・母親教室等 対象：一般 開催（配布）予定数：1日×47都道府県

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題3）
-小児保健医療水準の維持・向上させるための環境整備-

団体名	17年度の取り組み テーマ	17年度の取り組み実績	18年度の取り組み テーマ	18年度の取り組み行動計画
社団法人日本歯科医師会	34	<p>第54回母と子のよい歯のコンクール 目的・内容：厚生労働省と日本歯科医師会の主催により3歳児歯科健康診査受診者及びその子供の母親もよい歯を保持している母子を選出し、優秀者の表彰を行い、歯の健康保持に関する知識の普及啓発を図る。優秀母子の表彰については、11月12日（土）に新潟コンベンションセンター（新潟県新潟市）において開催された第26回全国歯科保健大会の式典で行った。 対象者：平成16年度に行われた全国の3歳児健康診査の受診者1,006,000人のうち、地方審査を経て各都道府県より推薦のあった母子36組のなかから優秀母子6組を選出。 開催数：1回開催 効果：幼児期における「う蝕」予防の普及啓発に寄与した。</p>	34	<p>第55回母と子のよい歯のコンクール 目的・内容：厚生労働省と日本歯科医師会の主催により3歳児歯科健康診査受診者及びその子供の母親もよい歯を保持している母子を選出し、優秀者の表彰を行い、歯の健康保持に関する知識の普及啓発を図る。優秀母子の表彰については、11月11日（土）に長崎ブリックホール（長崎県長崎市）において開催される第27回全国歯科保健大会の式典で行う予定である。 対象：平成17年度に行われた全国の3歳児健康診査の受診者のうち、地方審査を経て各都道府県より推薦のあった母子のなかから優秀母子を選出。 開催（配布）予定数：1回開催</p>
	34	<p>歯の衛生週間 目的・内容：歯の衛生に関する正しい知識を国民に対して普及啓発するとともに、歯科疾患の予防に関する適切な習慣の定着を図り、併せてその早期発見及び早期治療等を徹底することにより歯の寿命を延ばし、もって国民の健康保持増進に寄与することを目的とする。 標語「じょうぶな歯 いつもごはんが おいしいね」 重点目標「地域に根ざした8020運動の展開」 実施要領及びポスターの配布 対象：中央及び地方の主催団体（中央主催団体：厚生労働省、文部科学省、日本歯科医師会）から実施要領を配布し周知徹底と普及啓発に努めるとともに、日本歯磨工業会の協力により作成したポスター28万枚を都道府県歯科医師会、都道府県教育委員会、都道府県農業協同組合中央会等関係機関・団体等に配布した。</p>	34	<p>歯の衛生週間 目的・内容：歯の衛生に関する正しい知識を国民に対して普及啓発するとともに、歯科疾患の予防に関する適切な習慣の定着を図り、併せてその早期発見及び早期治療等を徹底することにより歯の寿命を延ばし、もって国民の健康保持増進に寄与することを目的とする。標語「ごちそうさま おはしをブラシに 持ちかえる」重点目標「住民主体による8020運動の新たな展開」 対象：実施要領及びポスターの配布中央及び地方の主催団体（中央主催団体：厚生労働省、文部科学省、日本歯科医師会）から実施要領を配布し周知徹底と普及啓発に努めるとともに、日本歯磨工業会の協力によりポスターを作成し、都道府県歯科医師会、都道府県教育委員会、都道府県農業協同組合中央会等関係機関・団体等に配布。</p>

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題3）
-小児保健医療水準の維持・向上させるための環境整備-

団体名	17年度の取り組みテーマ	17年度の取り組み実績	18年度の取り組みテーマ	18年度の取り組み行動計画
			34	母子歯科保健推進協議会 目的・内容:母子保健に関する法人格を持つ全国的組織である諸団体との意思疎通を図るために、昭和52年に設置し、地域における歯科保健事業の推進を目指している。 対象:加盟団体(社)母子保健推進会議、(社)全国保健センター連合会、(社)日本家族計画協会、(社)母子衛生研究会、(財)日本母子衛生助成会、(社)日本栄養士会、(財)日本食生活協会、(財)日本公衆衛生協会、(社)全国私立保育園連盟、(社会福祉法人)恩賜財団母子愛育会、(社)日本歯科衛生士会、(社)日本歯科医師会 開催(配布)予定数:1回開催
			34	日本小児歯科学会との連携 目的・内容:母子歯科保健における口腔の健康・増進に際して、小児歯科学会との連携は不可欠と思われるので、今後より連絡等を密にとり、協力体制を築いていきたい。
日本小児科医会	43,44	こども予防接種週間 目的・内容:予防接種率の向上。日医、厚生労働省と協同 対象:各医療機関 開催数:3月の第1週 効果:麻しん接種率の向上	43,44	こども予防接種週間 目的・内容:予防接種の普及と相談事業(診療時間外) 対象:全国の対象約1,500名 開催(配布)予定数:全国約3,000医療機関の協力
	43,44	1歳6ヶ月時点での各種予防接種済率調査 目的・内容:全国57定点での経年的調査 対象:地区小児科医会、行政 開催数:年間 効果:接種率の向上	44	重症麻しん患者調査 目的・内容:全国の病院小児科の事例報告 対象:麻疹肺炎、麻疹脳炎患者 開催(配布)予定数:約100名

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題3）
-小児保健医療水準の維持・向上させるための環境整備-

団体名	17年度の取り組み テーマ	17年度の取り組み実績	18年度の取り組み テーマ	18年度の取り組み行動計画
	44	重症麻しん患者調査 目的・内容:麻しんの重症合併症の調査 対象:病院小児科 開催数:年間 効果:麻しん絶滅運動	44	インフルエンザ菌脳症患者調査 目的・内容:全国の病院小児科へ依頼、事例報告 対象:Hib脳炎・脳症患者実数調査 開催(配布)予定数:約100名
	44	インフルエンザ菌脳症患者調査 目的・内容:本疾患の実態調査 対象:病院小児科 開催数:年間 効果:Hibワクチンの普及	43,44	1歳6ヶ月時点での各種予防接種済率調査 目的・内容:全国54定点での経年的調査 対象:1歳半児の約40,000人調査 開催(配布)予定数:予防接種接種済者の拾い上げ
	44	都道府県単位広域予防接種実施調査 目的・内容:県内どこでも接種できる体制づくり 対象:47都道府県小児科医会 開催数:完全実施、及び不完全実施30都道府県 効果:全国統一、無料接種に向けて	44	都道府県単位広域予防接種実施調査 目的・内容:全国47都道府県への聞き取り調査 対象:47都道府県 開催(配布)予定数:完全実施と不完全実施、未実施の理由について
			38	地区医師会立小児夜間休日診療所への地区小児科医会の協力体制の現況 目的・内容:地区医師会立小児夜間休日診療所への地区小児科医会の協力体制の現況 対象:47都道府県 開催(配布)予定数:完全実施、不完全実施、未実施の理由など
			37,45	小児医療グランドデザインへの取り組み 目的・内容:小児医療提供体制の地域及び圏域におけるあり方について 対象:47都道府県 開催(配布)予定数:地域性を加味した小児医療提供について
			28,35	子どもをたばこの害から守る運動 目的・内容:子ども及び胎児をタバコの害から守る 対象:47都道府県 開催(配布)予定数:パンフを作成して医療機関の待合室にはる

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題3）
-小児保健医療水準の維持・向上させるための環境整備-

団体名	17年度の取り組み テーマ	17年度の取り組み実績	18年度の取り組み テーマ	18年度の取り組み行動計画
			37,38	小児救急小児救急電話相談事業 目的・内容:0.5次救急として、育児不安の解消と救急診療現場の負担解消 対象:救急患児の保護者 開催(配布)予定数:35都道府県
日本小児科学会	28	こどもの生活環境改善委員会に、こどもの事故防止委員会を設置 目的・内容:交通事故の実態とチャイルドシート着用との関係についての調査研究(日米合同による調査) 対象:一般市民	28	こどもの事故防止委員会「チャイルドシートに関する調査」(継続) 目的・内容:チャイルドシートの適正規格と適正使用の調査研究(日米合同による調査) 対象:一般市民
	6,29,60	子どもをタバコの害から守る委員会(日本小児保健協会、医師会との合同活動) 目的・内容:子どもの喫煙防止、受動喫煙防止、などのための啓蒙活動、禁煙指導 対象:子ども、一般市民、行政、医師	6,29,60	子どもをタバコの害から守る委員会(日本小児保健協会、医師会との合同活動)(継続) 目的・内容:子どもの喫煙防止、受動喫煙防止、などのための啓蒙活動、禁煙指導とそれらの活動の成果の評価 対象:子ども、一般市民、行政、医師
	31, 39	小児医療供給体制の改革ビジョンの啓蒙と実現のための活動 目的・内容:わが国の小児医療・救急医療体制の改革 対象:厚生労働省、医師会、学会員	31, 39	小児医療供給体制の改革ビジョンの啓蒙と実現のための活動(継続) 目的・内容:わが国の小児医療・救急医療体制の改革 対象:厚生労働省、医師会、学会員
	31, 32, 39	急病時の対応パンフレット作成 目的・内容:急病時にどのように対応したらよいかを一般向けに分かり易く解説し、救急受診をするか否かの決定に役立たせる 対象:一般市民	23, 25	MRSA対策の提言とガイドラインの作成(継続) 目的・内容:新生児室におけるMRSAによる疾患の発生予防 対象:小児科医
	31, 32, 39	急病時の対応ホームページの作成 目的・内容:急病時にどのように対応したらよいかを一般向けに分かり易く解説し、救急受診をするか否かの決定に役立たせる 対象:一般市民	23, 25	新医師臨床研修における新生児教育基準案の作成(継続) 目的・内容:新生児ケアの標準化 対象:初期研修研修医

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題3）
-小児保健医療水準の維持・向上させるための環境整備-

団体名	17年度の取り組み テーマ	17年度の取り組み実績	18年度の取り組み テーマ	18年度の取り組み行動計画
	32, 39	小児救急フォーラムの開催 目的・内容:小児救急医療の改善 対象:医師、市民、行政 開催数:2回(関東と関西で各1回)	32, 39	小児救急フォーラムの開催 目的・内容:小児救急医療の改善 対象:医師、市民、行政 開催(配布)予定数:2回(関東と関西で各1回)
	20	後期研修での小児科希望医師数調査 目的・内容:小児医療供給に必要な適正な数の小児科医確保 対象:病院、約1,000研修指定病院	31, 32, 39	急病時の対応パンフレット作成(継続の見直し) 目的・内容:急病時にどのように対応したらよいかを一般向けに分かり易く解説し、救急受診をするか否かの決定に役立たせる。意見に基づき改善。 対象:一般市民
	41	小児科医の勤務環境と勤務状況の実態の調査 目的・内容:小児科医の勤務状況を改善し、もって安全な小児医療の確保を目指す 対象:一般市民、行政	1, 4, 42, 59	育成医療の在り方に関する委員会による活動(継続し、提言をまとめる) 目的・内容:一般小児科医の必須条件としての子どもの心の問題を扱える小児科医の育成 対象:小児科医、特に初期臨床研修医および小児科専門医
			25	正常新生児管理基準の完成(継続) 目的・内容:正常新生児の健全な育成をはかる為の医師の教育 対象:小児科医、初期研修医
			25	ビタミンK投与法の再検討(継続) 目的・内容:新生児出血性疾患予防 対象:小児科医、初期研修医、看護師
			41	小児科医の勤務環境と勤務状況の実態の調査(継続) 目的・内容:小児科医の勤務状況を改善し、もって安全な小児医療の確保を目指す 対象:一般市民、行政
			32,39	PALS講習会 目的・内容:小児の心肺蘇生術の普及 対象:小児科医 開催(配布)予定数:数回

**健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題3）
-小児保健医療水準の維持・向上させるための環境整備-**

団体名	17年度の取り組み テーマ	17年度の取り組み実績	18年度の取り組み テーマ	18年度の取り組み行動計画
日本小児看護学会	33,38,39,40,41,42,45,46	<p>学術集会・テーマセッション「子どもと家族に対する救急看護を考えよう！」</p> <p>目的・内容：平成17年度より小児救急看護認定看護師の教育が開始されたが、そのカリキュラム・ねらいを伝えると共に、神奈川県看護協会で行った「小児救急看護を通じた家庭応急看護支援事業」の成果について話題提供し、小児救急看護について考える機会とする。</p> <p>対象：日本小児看護学会会員・非会員および学生等 学術集会参加者1137名 開催数：1回開催（神奈川県）</p> <p>効果：小児救急看護認定看護師の役割を認識すると共に、小児救急に関して子どもや家族にどのような支援を行っていけばよいのかについて考えを深めることができた。</p>	30,31,32,33,38,39,45,46	<p>調査研究「小児救急医療における看護師のトリアージの有効性に関する研究」</p> <p>目的・内容：研究目的：文献検討により、日本の小児救急における問題点とその背景、欧米におけるトリアージナースの意義を明らかにする。看護師によるトリアージの有効性を看護師と救急医のトリアージシミュレーションの信頼性により検討する。上記を基に、トリアージの妥当性、安定性を維持するための教育プログラムを開発する。</p> <p>対象：看護師5名、救急医5名、研修医5名、トリアージ訓練を受けた看護研修学校の研修生5名を対象に、トリアージシミュレーションの結果を検者内信頼性、検者間信頼性を評価する。</p>
	48	<p>学術集会・テーマセッション「子どもの病院環境とプリパレーション」</p> <p>目的・内容：日本の小児病棟の現状とヨーロッパの小児病棟を紹介し、子どもの病院環境とプリパレーションについて考え、今後の課題などに対して話し合う場とする。</p> <p>対象：日本小児看護学会会員・非会員および学生等 学術集会参加者1137名 開催数：1回開催（神奈川県）</p> <p>効果：子どもの発達段階に合わせた遊びや保育・教育、診療・治療に伴う精神的ケアや家族のサポートを含めた病院・教育環境について、その認識を高めることができた。</p>	48	<p>調査研究「小児病棟における看護師と保育士の連携に関する研究」</p> <p>目的・内容：子どもの生活を守るために保育士とのより良い連携を考える。子どもの医療現場における保育士との連携についての実態調査を実施する。</p> <p>対象： ・第16回学術集会の参加者を対象にアンケート調査 ・学会員全体へのアンケート調査</p>

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題3）
-小児保健医療水準の維持・向上させるための環境整備-

団体名	17年度の取り組みテーマ	17年度の取り組み実績	18年度の取り組みテーマ	18年度の取り組み行動計画
	49	『改訂版 気管切開を行って退院する子どもと家族へのケアマニュアル』作成 目的・内容：小児慢性疾患患児の在宅療養のための『気管切開を行って退院する子どもと家族へのケアマニュアル(2003作成)』について、看護職の研修会を通して活用・普及を図り、さらに医師や家族からの聞き取り調査を行い、改訂版を作成。 対象：看護専門職、医師、家族、その他小児の在宅医療に携わっているケア提供者。学会員及び小児専門病院・看護系大学小児看護学担当者などに配付。 配布数：1800部配付 効果：小児の在宅ケアに携わっている医療関係者だけでなく、養護学校などの学校関係者や施設などからの希望もあり、幅広く活用され、認識を高めることができた。	49	『改訂版 気管切開を行って退院する子どもと家族へのケアマニュアル』 目的・内容：PDFファイルにして、学会のHPに載せる。 対象：専門職（看護師、保健師、助産師、養護教諭、養護学校教諭、訪問看護ステーション看護師等）及び一般
	49	北海道地方会メインテーマ「子どもの主体性を尊重する看護の実現に向けて」 目的・内容：北海道の学会員を増やし、北海道地区の子どもと家族の実践と研究をさらに発展させる。3つのテーマセッション、2つの講演の他、北海道地区の小児看護の実践、研究者により13の演題が発表された。 対象：看護師・医師など医療関係者、子どもの家族など144名 開催数：1回開催（北海道） 効果：小児看護に携わる者同士の輪を広げることができた。また、子どもをキーワードとして、他領域の専門職とも連携していくことができた。	49	調査研究「養護学校における医療的ケアを実施する看護師の機能と専門性の明確化に関する研究」 目的・内容： 1) 養護学校に勤務する看護師の役割・他職種連携の実態と課題を把握するとともに、学校における看護師の専門性に対する認識を明らかにする。 2) 養護学校における看護の課題の抽出から、看護の機能と専門性を明確化する。 対象： 開催（配布）予定数：全国の養護学校に勤務する看護師を対象に、質問紙調査および面接調査を行う。
日本小児救急医学会	30,31,32,33,37,38,39,41,45	第19回日本小児救急医学会学術集会&市民公開講座 目的・内容：小児救急担当医および看護師、救急救命士を交えての、各項目における発表と討議 対象：小児科医、小児外科医、小児麻酔科医、看護師、救急救命士など約1000名参加 開催数：1回開催（宮城県仙台市） 効果：小児救急全体に関わる対応スキルおよび、地域小児救急医療提供体制の工夫の周知	30,31,32,33,37,38,39,41,45	第20回日本小児救急医学会学術集会&市民公開講座 目的・内容：小児救急担当医および看護師、救急救命士を交えての、各項目における発表と討議 対象：小児科医、小児外科医、小児麻酔科医、看護師、救急救命士など延べ100名 開催（配布）予定数：1回開催（茨城県つくば市）

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題3）
-小児保健医療水準の維持・向上させるための環境整備-

団体名	17年度の取り組みテーマ	17年度の取り組み実績	18年度の取り組みテーマ	18年度の取り組み行動計画
			30,31,32,33,37,38,39,41,45,50,51	第1回小児救急ワークショップ in 北九州 目的・内容：熟練医による小児救急疾患への対応のノウハウやスキルを、若手医師、看護師へ伝達し、小児救急医療全体の底上げを狙って、講義形式で行う 対象：研修医、若手小児科医、看護師、医学生など 200 - 300名予定 開催(配布)予定数：1回開催(福岡県北九州市)
日本小児保健協会		第52回日本小児保健学会プレコンgres:公開シンポジウム1「子どもとメディア」 目的・内容：IT社会における子どもの心の発達に対するメディアの影響とその対応 対象：医師、保健師、保育士心理、教師など参加者1000名 開催(配布)数：毎年 小児保健学会の前日に開催 効果：ノーテレビディなどの取り組み地域の増大		予防接種 目的・内容：第23回小児保健セミナー 最近の予防接種の知識と問題点 対象：小児保健関係者 開催(配布)予定数：小児保健研究その他
		公開シンポジウム 「誤解されやすい子どものアレルギー」 目的・内容：小児人口の4 - 5%を占めるアレルギー疾患についての正しい理解と対応 対象：医師、保健師、看護師保育士、教師など参加者：1000名 開催(配布)数：毎年 小児保健学会の前日に開催 効果：幼稚園、保育園などでのアレルギー小児への理解と対応を深めた		プレコンgres公開シンポジウム：子どもの安全は健康課題 安全・安心な街づくり 対象：小児保健関係者、一般市民
		第52回日本小児保健学会学術集会小児保健に関するシンポ、ワークショップ、教育講演、特別講演、一般演題など 目的・内容：「健全な社会に向けての小児保健」をメインテーマとして小児保健の知識の普及と啓蒙 対象：医師、保健師、看護師、助産師、保育士、心理、栄養、教師など参加：1600名 開催(配布)数：年1回開催学術講演集2000部 効果：症保健の啓蒙と普及		第53回小児保健学会 対象：小児保健関係者

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題3）
-小児保健医療水準の維持・向上させるための環境整備-

団体名	17年度の取り組みテーマ	17年度の取り組み実績	18年度の取り組みテーマ	18年度の取り組み行動計画
		小児保健学会誌部研究会並びに講演会 目的・内容:健やか親子21 に関係するテーマで開催 対象:医師、保健師、看護師、助産師、保育士、心理、栄養、教師など1回:60 - 300名参加 開催(配布)数:全国47都道府県支部において年1 - 2回開催 効果:到達目標の達成に寄与		予防接種 目的・内容:小児保健シリーズ NO 60刊行
		不定愁訴を持つ子どもへのアプローチ 目的・内容:小児心身症の理解と対応、防止 対象:小児保健関係者 開催(配布)数:小児保健シリーズ No:59		小児保健協会支部研究会並びに講演会 目的・内容:小児保健関係者、一般住民 対象:全国47都道府県支部において毎年1 - 2回開催 毎回:60 - 300名 参加
				子どもの心の安らかな発達の促進と育児不安の軽減 目的・内容:代表幹事団体として幹事団体・参加団体協働して全国各地に、心の健康、育児不安の軽減(育児支援)と虐待の瘦躯発見と防止につながるシエンシステムを構築 対象:年2回以上の第4課題推進協議会の開催 開催(配布)予定数:到達目標
社団法人日本助産師会	31	乳児SIDS強化月間の広報 目的・内容:乳児SIDS強化月間の広報のため、47都道府県に資料配布とHPへの掲載で、会員への周知を図った。 対象:助産師、一般の方 開催(配布)数:47都道府県 効果:会員の更なる意識付けになった。	31,35,36	【健やか親子21】中間評価の報告書の周知 目的・内容:【健やか親子21】中間評価報告書を、助産師会支部に配布し、目標達成に向けての取り組みを促す。 対象:日本助産師会会員 開催(配布)予定数:47都道府県支部に配布。個人的に必要な方にも資料のある限り送付。

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題3）
-小児保健医療水準の維持・向上させるための環境整備-

団体名	17年度の取り組み テーマ	17年度の取り組み実績	18年度の取り組み テーマ	18年度の取り組み行動計画
日本赤十字社	25,27,28,33,34,35	赤十字幼児安全法一般普及講習会(一般、支援員養成)、短期講習会の開催 目的・内容:こどもに起こりやすい事故に対する救命手当・応急手当の方法と事故防止、家庭内での看病の方法を中心とした講習会を開催した。 対象:一般 開催(配布)数:開催数 2,000回 受講者数 50,000人 効果:こどもの事故予防と事故発生時の手当の方法、及び、こどもに起こりやすい症状に対する対応の仕方についての理解が得られた。	25,27,28,33,34,35	赤十字幼児安全法一般普及講習会(一般、支援員養成)、短期講習会の開催 目的・内容:こどもに起こりやすい事故に対する救命手当・応急手当の方法と事故防止、家庭内での看病の方法を中心とした講習会を開催する。 対象:一般 開催(配布)予定数:開催数2,300回 受講者数 55,000人
	25,27,28,33,34,35	赤十字幼児安全法指導員養成講習会の開催 目的・内容:赤十字幼児安全法の指導者を養成するための講習会を開催した。 対象:一般 開催(配布)数:開催9回 養成者数87人 効果:赤十字幼児安全法指導員が養成され、今後の講習活動の更なる拡大が期待できる。	25,27,28,33,34,35	赤十字幼児安全法指導員養成講習会の開催 目的・内容:赤十字幼児安全法の指導者を養成するための講習会を開催する。 対象:一般 開催(配布)予定数:開催数10回 受講者数 90人
	25,27,28,33,34,35	視聴覚教材(ビデオ)、小冊子の活用及び販売 目的・内容:赤十字幼児安全法の一層の普及を図るため、日本赤十字社各都道府県支部等で活用するとともに、(株)日赤会館を通じて一般の方へ頒布した。 対象:一般 開催(配布)数:ビデオ約150本、小冊子約35,000部を頒布 効果:こどもの安全に関する一層の普及が得られた	25,27,28,33,34,35	視聴覚教材(ビデオ)、小冊子の活用及び販売 目的・内容:赤十字幼児安全法の一層の普及を図るため、日本赤十字社各都道府県支部等で活用するとともに、(株)日赤会館を通じて一般の方へ頒布する。 対象:一般 開催(配布)予定数:ビデオ200本、小冊子約40,000部を頒布
	38,47	小児救急医療拠点病院 目的・内容:2次医療圏域で小児救急医療体制を確保するため。 対象:2次医療圏で小児救急医療を必要としている方々 開催(配布)数:全国で5赤十字医療施設を設置。	38,47	小児救急医療拠点病院 目的・内容:2次医療圏域で小児救急医療体制を確保するため。 対象:2次医療圏で小児救急医療を必要としている方々 開催(配布)予定数:全国で5赤十字医療施設にて設置。

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題3）
-小児保健医療水準の維持・向上させるための環境整備-

団体名	17年度の取り組み テーマ	17年度の取り組み実績	18年度の取り組み テーマ	18年度の取り組み行動計画
	17,18,22,28,29,30,31,42,59	総合周産期母子医療センター 目的・内容:周産期医療の充実のため 対象:患者及びそのご家族 開催(配布)数:全国で8赤十字医療施設にて設置	17,18,22,28,29,30,31,42,59	総合周産期母子医療センター 目的・内容:周産期医療の充実のため 対象:患者及びそのご家族 開催(配布)予定数:全国で8赤十字医療施設にて設置。
	17,18,22,28,29,30,31,42,59	地域周産期母子医療センター 目的・内容:周産期医療の充実のため 対象:患者及びそのご家族 開催(配布)数:全国で11赤十字医療施設にて設置。	17,18,22,28,29,30,31,42,59	地域周産期母子医療センター 目的・内容:周産期医療の充実のため 対象:患者及びそのご家族 開催(配布)予定数:全国で11赤十字医療施設にて設置
	28,30,31,42	NICU病床の設置 目的・内容:新生児集中治療室の充実のため。 対象:患者及びそのご家族 開催(配布)数:全国で32赤十字医療施設(372床)にて設置。	28,30,31,42	NICU病床の設置 目的・内容:新生児集中治療室の充実のため。 対象:患者及びそのご家族 開催(配布)予定数:全国で32赤十字医療施設(372床)にて設置。
	30,31,32,33,38,39,42,43,44,58	乳幼児健康相談の実施 目的・内容:乳幼児の健康管理体制の醸成のため。 対象:患者及びそのご家族 開催(配布)数:全国で55赤十字医療施設にて実施。	30,31,32,33,38,39,42,43,44,58	乳幼児健康相談の実施 目的・内容:乳幼児の健康管理体制の醸成のため。 対象:患者及びそのご家族 開催(配布)予定数:全国で55赤十字医療施設にて実施。
	33,38,39,43,44,49	小児健康相談の実施 目的・内容:小児の健康管理体制の醸成のため。 対象:患者及びそのご家族 開催(配布)数:全国で43赤十字医療施設にて実施。	33,38,39,43,44,49	小児健康相談の実施 目的・内容:小児の健康管理体制の醸成のため。 対象:患者及びそのご家族 開催(配布)予定数:全国で43赤十字医療施設にて実施。
	17,18,19,35,36	妊産婦健康相談の実施 目的・内容:妊産婦の健康管理体制の醸成のため。 対象:患者及びそのご家族 開催(配布)数:全国で56赤十字医療施設にて実施	17,18,19,35,36	妊産婦健康相談の実施 目的・内容:妊産婦の健康管理体制の醸成のため。 対象:患者及びそのご家族 開催(配布)予定数:全国で56赤十字医療施設にて実施。

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題3）
-小児保健医療水準の維持・向上させるための環境整備-

団体名	17年度の取り組み テーマ	17年度の取り組み実績	18年度の取り組み テーマ	18年度の取り組み行動計画
	38,42,43,44,52,54	育児相談 目的・内容:育児全般における相談・啓蒙の場を提供するため。 対象:患者及びそのご家族 開催(配布)数:全国で39赤十字医療施設にて実施	38,42,43,44,52,54	育児相談 目的・内容:育児全般における相談・啓蒙の場を提供するため。 対象:患者及びそのご家族 開催(配布)予定数:全国で39赤十字医療施設にて実施
	17,18,28,30,31,32,33,35,36,42,52,54,58	母親学級の開催 目的・内容:妊産婦の出産・育児に関する学習会の場を提供するため。 対象:患者及びそのご家族 開催(配布)数:全国で69赤十字医療施設にて実施。	17,18,28,30,31,32,33,35,36,42,52,54,58	母親学級の開催 目的・内容:妊産婦の出産・育児に関する学習会の場を提供するため。 対象:患者及びそのご家族 開催(配布)予定数:全国で69赤十字医療施設にて実施
日本保育園保健協議会	4145.49.59	生涯研修システム 目的・内容:保育環境の諸問題の整理保育保健の研修・研鑽 対象:保育関係者(保育士、園長看護師、園医、栄養士など)3500名 開催(配布)数:全国研修会2回ブロック別研修会4回 効果:系統的な研修の場が提供できた。生涯研修の意欲が芽生えてきた。	41,45.49.59	生涯研修システム 目的・内容:保育環境の諸問題の整理 保育保健の研修・研鑽 対象:保育関係者(保育士、園長看護師、栄養士、園医など)4000名 開催(配布)予定数:全国研修会2回 ブロック別研修会4回
財団法人 日本母子衛生助成会			32,33,34,37,38,39,41	「赤ちゃん・子どものための受診ノート」(仮題) 目的・内容:子どもがより健康な生活を送るために、保護者に対して最新の保健医療情報の提供を行い、少子化対策の一環に寄与することを目的とする。 対象:小児科病医院の受診時、市町村で実施される健診時に配布790,000人 開催(配布)予定数:790,000部
日本母性衛生学会			22,28,30	第47回日本母性衛生学会学術集会 目的・内容:シンポジウム「産科病棟・NICUのリスクマネジメント」 対象:医師、助産師、看護師、保健師等 約2000名 開催(配布)予定数:1回開催(愛知県)

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題3）
-小児保健医療水準の維持・向上させるための環境整備-

団体名	17年度の取り組みテーマ	17年度の取り組み実績	18年度の取り組みテーマ	18年度の取り組み行動計画
			28,29	第47回日本母性衛生学会学術集会教育講演「未熟児網膜症治療の現状」 目的・内容：未熟児網膜症治療の現状を知り、今後の治療の方向性を探る。 対象：医師・保健師・助産師・看護師等 400名 開催(配布)予定数：1回開催
			28,29,30	第47回日本母性衛生学会学術集会シンポジウム「胎児診断とその家族への対応」 目的・内容：胎児診断の現状とその可能性を知り、家族に対して望ましい対応のあり方を考察する。 対象：医師・保健師・助産師・看護師等 400名 開催(配布)予定数：1回開催
社団法人 日本薬剤師会			35	薬局・薬店における禁煙支援の強化 目的・内容：喫煙のあたえる健康影響の啓発強化、禁煙を希望する者への禁煙支援の強化、特に妊婦・授乳婦への啓発 対象：薬局来局者・薬店来店者
財団法人 母子衛生研究会	1-4,7,19,29,31-33,35,42-46,50-53,58,63	「母子保健指導者研修会」開催 目的・内容：「健やか親子21」の課題をふまえ、地域母子保健活動の一層の向上を図る。 対象：保健師、助産師、看護師、保育士等母子保健関係者9,200名 開催(配布)数：46回開催(岐阜県を除く全都道府県) 効果：地域母子保健活動の向上に寄与できた。	1-4,7,19,29,31-33,35,42-46,50-53,58,63	母子保健指導者研修会」 目的・内容：保健、教育、福祉等の分野を越えた連携を図り、母子保健の諸問題への対応。 対象：保健師、助産師、看護師、保育士等母子保健関係者 5,000名 開催(配布)予定数：年間25回
	32,33,39-42	「事故防止セミナー」開催 目的・内容：住宅展示場のモデルルームを使用し、家庭内外での事故予防についての正しい知識の普及啓発。 対象：妊婦とその家族 15組、30名 開催(配布)数：1回開催(東京都) 効果：出産前に家庭内外を点検することにより、事故防止についての意識を高めることができた。	17-21,28-39,41-44,58	母子健康手帳副読本「赤ちゃん - そのしあわせのために」 目的・内容：妊娠・出産・育児についての正しい知識の普及啓発。 対象：妊娠届出の妊婦130万人 開催(配布)予定数：年間約130万部

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題3）
-小児保健医療水準の維持・向上させるための環境整備-

団体名	17年度の取り組み テーマ	17年度の取り組み実績	18年度の取り組み テーマ	18年度の取り組み行動計画
	17-21,28-39,41-44,58	母子健康手帳副読本「赤ちゃん - そのしあわせのために」配布 目的・内容:妊婦に対する妊娠・出産・育児についての正しい知識の普及啓発。 対象:妊娠届出時に母子健康手帳副読本として妊婦130万人に配布 開催(配布)数:全国の市町村等を通じて130万部配布 効果:妊婦が妊娠・出産・育児に対する正しい知識を身につけることができた。		「妊娠期・授乳期ママの栄養miniガイド - あなたの食事はだいじょうぶ?」 目的・内容:妊娠・授乳期の栄養についての正しい知識の普及啓発。 対象:妊娠届出の妊婦100万人 開催(配布)予定数:年間約100万部
	31-33,39-42	「わが家の安心ガイドブック」配布 目的・内容:乳幼児の事故予防、応急手当の方法についての正しい知識の普及啓発。 対象:1歳6か月児健康診査時等の保護者120万人に配布 開催(配布)数:全国の市町村等を通じて122万部配布 効果:乳幼児の事故防止、応急手当の仕方を保護者に分かりやすく解説したことで、事故の減少に貢献した。	31-33,39-42	「わが家の安心ガイドブック」 目的・内容:乳幼児の事故予防、応急手当の方法についての正しい知識の普及啓発。 対象:1歳6か月児健康診査時等の保護者122万人 開催(配布)予定数:年間約122万部
社団法人 母子保健推進会議	15,19,31,33,34,35,39,43,44,50-58,60-63,66	全国母子保健推進員連絡協議会活動報告会 目的:母子保健推進員の活動を周知することにより、母子保健推進員の活動への理解を深め、子育て中の親の育児不安の軽減等へつなげる。 内容:全国の母子保健推進員活動の報告等。 対象:行政母子保健担当者、関係団体、母子保健推進員協議会代表等112名 開催(配布)数:1回開催(奈良県) 効果:母子保健推進員活動の周知は子育て中の親子への支援につながるとともに、全国から関係者が集まることで意見交換の場ともなった。	9,10,15,19,33,34,35,39,43,44,50-58,60-63,66	全国母子保健推進員連絡協議会活動報告会 目的:母子保健推進員の活動を周知することにより、子育て中の親子に寄り添う母子保健推進員の活動への理解を深め、育児不安の軽減へつなげることを目的とする。 内容:全国の母子保健推進員の活動報告 対象:行政母子保健担当者、母子保健推進員協議会代表、関係団体代表等150名 開催(配布)予定数:1回開催(高知県)

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題3） -小児保健医療水準の維持・向上させるための環境整備-

団体名	17年度の取り組み テーマ	17年度の取り組み実績	18年度の取り組み テーマ	18年度の取り組み行動計画
	2,3,9,10,15,19,34,50-55,63,66	<p>母子保健推進員研修会 目的:市町村母子保健事業の促進と母子保健推進員の資質の向上を図る。 内容:虐待予防、育児不安の軽減、親と子のかかわり、思春期保健(薬物・自殺・性感染症)、母子歯科保健、食育などをテーマにした講演、シンポジウム、活動報告等 対象:母子保健推進員、保健師、自治体母子保健担当者等4,150名 開催(配布)数:11回開催:佐賀県・富山県・山口県・茨城県・岐阜県・鹿児島県・新潟県・熊本県・長野県・沖縄県・宮城県 効果:母子保健推進員の資質の向上と母子保健推進員・保健師等の連携を深めることに寄与。</p>	2,3,9,10,15,19,34,39,50-55,58,63,66	<p>母子保健推進員研修会 目的:市町村母子保健事業の促進と母子保健推進員の資質の向上を図る。 内容:虐待予防、育児不安の軽減、親と子のかかわり、思春期保健、母子歯科保健、食育などをテーマにした講演、シンポジウム、活動報告 対象:母子保健推進員、保健師、自治体母子保健担当者等4,150名程度 開催(配布)予定数:12回開催(山口県・佐賀県・富山県・長野県・松江市・群馬県・長崎県・熊本県・栃木県・高知県・宮城県・沖縄県)</p>
	34	<p>歯科保健技術者研修会 目的:8020の達成には乳幼児期からのむし歯予防対策が重要で、特に一斉指導ができる母子保健現場を活用することが有効であるため関係に対し研修を行う。 内容:「自閉症と歯科保健」、「口腔がんと検査」、「生活習慣病としての歯科疾患、そして全身とのかかわり」など 対象:保健師、養護教諭、保育士、歯科衛生士等350名 開催(配布)数:2回で開催(鳥取県、青森県) 効果:歯科保健知識の普及と関係者の連携の強化が図られた。</p>	34	<p>歯科保健技術者研修会 目的:8020と健やか親子21は住民が主体性を持ち進めるが、それを支える専門職、関係者に対して最新の情報を伝える必要がある。 内容:歯科保健からの虐待予防 など 対象:保健師、養護教諭、保育士、歯科衛生士等350名 開催(配布)予定数:2回で開催(鳥取県、青森県)</p>
	34,52,60	<p>母子歯科保健研修会 目的:母子保健推進員等を対象に歯科保健知識の普及を図る 内容:妊婦と乳幼児への口腔ケア、乳幼児の発達と歯科保健、など 対象:母子保健推進員、保健師、自治体母子保健担当者 開催(配布)数:母子保健推進員研修会等に併設して13会場で開催 効果:母子保健関係者にも歯科保健の知識を深める機会となり、意識も高揚した。</p>	34,52,	<p>母子歯科保健研修会 目的:母子保健推進員等歯科保健専門職でない方々を対象に歯科保健知識の普及を図る 内容:妊婦と乳幼児への口腔ケア、乳幼児の発達と歯科保健など 対象:母子保健推進員、保健師、自治体母子保健担当者 開催(配布)予定数:母子保健推進員研修会等に併設して12県で開催</p>

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題3）
-小児保健医療水準の維持・向上させるための環境整備-

団体名	17年度の取り組み テーマ	17年度の取り組み実績	18年度の取り組み テーマ	18年度の取り組み行動計画
	17,19,31,34,35,43,44, 51,52,55,58	リーフレット「丈夫な赤ちゃんを生き育てましょう」・ 「元気に育てよう私の赤ちゃん」 目的：母子保健推進員が妊婦や乳幼児のいる家庭 を訪問する際の配布教材 内容：妊娠中から乳幼児期の子どもの特徴、気をつ けること等を記したB6判3ツ折のリーフレット 対象：妊婦・乳幼児を持つ親 開催（配布）数：各20,000部制作・配布 効果：母子保健推進員等が家庭を訪問する際の配 布物として母親に必要な情報の伝達する手段として 活用されている。	17,19,31,34,35,43,44, 51,52,55,58	リーフレット「丈夫な赤ちゃんを生き育てましょう」・ 「元気に育てよう私の赤ちゃん」 目的：母子保健推進員が妊婦や乳幼児のいる家庭 を訪問する際の配布教材 内容：妊娠中から乳幼児期の子どもの特徴、気をつ けること等を記したB6判3ツ折のリーフレット 対象：妊婦・乳幼児を持つ親 開催（配布）予定数：各20,000部作成配布
	21,33,39,40	ポスター「防げます！子どもの事故 - 周囲の大人 のちょっとした工夫と習慣があなたのお子さんを守 ります」 目的及び内容：母子保健強調月間（10月）に併せ制 作、母健連絡カードの利用促進と子どもの事故予 防の啓発を図る 対象：都道府県、政令市、中核市、関係団体 開催（配布）数：10,000枚制作配布 効果：子どもの事故予防と母健連絡カードの利用促 進、意識の啓発につながる。	21,33,39,40	ポスター「防げます！子どもの事故 - 周囲の大人 のちょっとした工夫と習慣があなたのお子さんを守 ります」 目的及び内容：母子保健強調月間（10月）に併せ制 作、母健連絡カードの利用促進と子どもの事故予 防の啓発を図る 対象：都道府県、政令市、中核市、関係団体 開催（配布）予定数：10,000枚制作配布
	34	リーフレット「おかあさんといっしょに よい歯で よく 噛む よい子ども」 目的：乳幼児期からのむし歯予防の大切さと留意点 を広く知らしめる。 内容：1歳6か月・3歳児健診、2歳児歯科健診時配 布用教材、各年・月齢の特徴、留意点、歯みがきの ポイント、離乳食 対象：市町村保健センター等 開催（配布）数：500,000部制作・配布 効果：健診時や訪問時の配布用教材として活用さ れ、ブラッシング、おやつとの与え方などの周知に役 立っている。	34	リーフレット「おかあさんといっしょに よい歯で よく 噛む よい子ども」 目的：乳幼児期からのむし歯予防の大切さと留意点 を広く知らしめる。 内容：1歳6か月・3歳児健診、2歳児歯科健診時配 布用教材、各年齢・月齢の特徴、留意点、歯みがき のポイント、離乳食など 対象：市町村保健センター等 開催（配布）予定数：500,00部制作・配布

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題3）
-小児保健医療水準の維持・向上させるための環境整備-

団体名	17年度の取り組みテーマ	17年度の取り組み実績	18年度の取り組みテーマ	18年度の取り組み行動計画
	34	<p>幼児用歯ブラシセット 目的:乳幼児期からの正しい歯の磨き方の普及啓発のため 内容:1歳6か月・3歳児用歯ブラシとリーフレットのセットを配布 対象:市町村(健診時等に対象者へ) 開催(配布)数:350,000セットを配布 効果:乳幼児健診時等で行われる歯みがき指導で活用され、むし歯罹患率の減少につながっている。</p>	34	<p>幼児用歯ブラシセット 目的:乳幼児期からの正しい歯の磨き方の普及啓発 内容:1歳6か月・3歳児用歯ブラシとリーフレットのセットを県・保健所を通して配布 対象:市町村(健診時等に対象者へ) 開催(配布)予定数:計350,000セットを配布</p>
	29,35	<p>ポスター、クリアファイル「ママ、パパ、タバコすわないで～タバコは早産・低体重児の誘因になります」 目的:妊婦の喫煙、副流煙による子どもへの弊害を広く知らしめる 内容:ポスター、クリアファイルを制作し、喫煙による危険性(副煙流含む)を知らしめるとともに、本会議機関紙「母推さん」(後述)で特集記事を掲載。 対象:都道府県、政令市、病産院、関係団体 開催(配布)数:ポスター20,000枚、クリアファイル15,000、「母推さん」10,000部制作、配布 効果:妊婦の喫煙がもたらす弊害についての教材が少ない中、必要な情報を端的に訴え、意識の啓発につながっている。</p>	29,35	<p>ポスター、リーフレット「ママ、パパ、タバコすわないで～タバコは早産・低体重児の誘因になります」 目的:妊婦の喫煙による弊害を広く知らしめる 内容:妊婦の喫煙、副流煙の特に乳幼児への危険性を知らしめるポスターを制作、配布。機関紙「母推さん」(後述)で特集記事を掲載。 対象:都道府県、政令市、病産院、関係団体 開催(配布)予定数:ポスター:20,000枚機関紙「母推さん」:10,000部</p>
	19,50-58,66	<p>第2・3回子育てピア支援者養成セミナー 目的:地域で親子に寄り添い子育てをサポートする母子保健推進員等を支援・養成する保健師等を養成し、母親の育児不安の軽減、虐待に至る芽を摘み子育てを支援すると同時に、自分自身が持つ本来の力を取り戻す。 内容:エンカウンター、ピアカウンセリング等の理論とスキルを実習中心に学ぶ。 対象:保健師、保育士、行政母子保健担当者等 開催(配布)数:1回(東京・千葉で開催)計50名 効果:セミナー受講生自身本来の力を取り戻し、表情が受講前と後ではまるで変る。また各地域に戻り同様の研修会を実施、母親が自信と元気を取り戻した等の報告が多く寄せられている。</p>	19,50-58,66	<p>第4回子育てピア支援者養成セミナー 目的:地域で親子に寄り添い子育てをサポートする母子保健推進員等を支援・養成する保健師等を養成し、育児不安の軽減や虐待に至る芽を摘み子育てを支援すると同時に、自分自身が持つ本来の力を取り戻す 内容:エンカウンター、ピアカウンセリング等の理論とスキルを実習中心に学ぶ。 対象:保健師、保育士、行政母子保健担当者等 開催(配布)予定数:1回(東京で開催)30名</p>

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題3）
-小児保健医療水準の維持・向上させるための環境整備-

団体名	17年度の取り組み テーマ	17年度の取り組み実績	18年度の取り組み テーマ	18年度の取り組み行動計画
	19,50-58,66	ピアママ支援者養成事業 目的:孤立した環境で妊娠から育児期を過ごす母親の子どもへの虐待防止を図る。 内容:ピアママサポートの基礎知識、5市町村において実施したピアママ育成事業をまとめた冊子を制作し、都道府県、希望のあった市町村等に配布した。 対象:全国都道府県、政令市、中核市希望のあった市町村等 開催(配布)数:10,000部 効果:現在全国各地で始まったピアママ育成事業のマニュアルの一つともなっており、保健師等指導者から信頼が厚い	2,3,6,8,9,15,16,33-35,39,40,43,44,50-55,58,63,66	組織育成費の助成 目的:母子保健推進員組織の育成・支援、 内容:県レベルの母子保健推進員組織がある2県に対し、各100,000円の助成を行う。 対象:和歌山県、沖縄県の各母子保健推進員協議会 開催(配布)予定数:1回(2県)
	2,3,6,8,9,15,16,33,34,35,39,40,43,44,50-55,58,63,66	組織育成費の助成 目的:母子保健推進員組織の育成・支援、 内容:県レベルの母子保健推進員組織がある7県に対し、各100,000円を助成 対象:佐賀県、和歌山県、山口県、富山県、長野県、沖縄県、新潟県の各母子保健推進員協議会 開催(配布)数:1回(7県) 効果:県レベルの協議会設置の必要性は皆が認識しながらも予算の捻出が困難であることが多く、同育成費は、母子保健推進員活動を支える大きな力となっている。	2,3,9,10,15,16,19,33-35,40,50-58,63,66	地域母子保健福祉情報紙 母推さん の発行 目的:地域母子保健の普及、母子保健推進員の資質の向上を図る。 内容:厚生労働省、専門職の頁、地域母子保健活動の実際、活動している人の声など。 対象:都道府県・保健所・市町村・関係団体等毎月10,000部発行 開催(配布)予定数:12回(毎月1回1日発行)
	2,3,9,10,15,16,19,33,34,35,40,50-58,63,66	地域母子保健福祉情報紙 母推さん の発行 目的:地域母子保健の普及、母子保健推進員の資質の向上を図る。 内容:厚生労働省、専門職による情報提供、地域母子保健活動の実際、活動している人の声など。 対象:都道府県・保健所・市町村・関係団体等毎月10,000部発行 開催(配布)数:12回(毎月1回1日発行) 効果:行政、専門職からの情報、地域における母子保健活動の実際を広く掲載し、毎号全国から多くの反響が寄せられている。		

**健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題3）
-小児保健医療水準の維持・向上させるための環境整備-**

団体名	17年度の取り組み テーマ	17年度の取り組み実績	18年度の取り組み テーマ	18年度の取り組み行動計画
日本小児総合医療施設協議会	37.38	<p>アンケート調査「小児総合医療施設における感染対策・予防接種アンケート」 目的・内容:BCG、DPT、OPV、麻疹、風疹各ワクチンの接種率向上と院内感染管理を計るため、「院内感染管理」として 小児4大感染症とB型肝炎ウイルス(HBV)対策、インフルエンザ対策について調査し、「予防接種率向上」については 予防接種外来への取組みについて調査した。更に トラベルワクチンへの取組みについても調査を行った。 対象:日本小児総合医療施設協議会加盟26施設 開催(配布)数:アンケート調査26枚 効果:全国の小児病院における状況把握するとともに、感染対策、予防接種率の向上に向けて注意を喚起した。また、過去2年間の調査との比較によると、院内感染防止のための対策が進んでいることが示された。</p>	37.38	<p>アンケート調査「小児総合医療施設における感染対策・予防接種アンケート」 目的・内容:麻疹、風疹、百日咳、ポリオ、結核などのワクチン予防可能疾患の予防接種率向上対策と院内感染管理について調査する。 対象:日本小児総合医療施設協議会加盟26施設 開催(配布)予定数:アンケート調査26枚</p>
日本小児神経学会	49	<p>医療的ケア講師養成セミナー 目的・内容:身体障害者療育支援、教育現場での医療的ケアの実践、障害を持つ児への診療支援。 2005年7月2日、仙台市で開催。 対象:日本小児神経学会会員66名 開催(配布)数:1回開催、宮城県 効果:各地からの参加者が教育現場での、教師による医療的ケアの指導者となりうる素地ができた</p>	49	<p>医療的ケア講師養成セミナー 目的・内容:身体障害者療育支援、教育現場での医療的ケアの実践、障害を持つ児への診療支援。 2006年7月8日、福岡市で開催予定。 対象:日本小児神経学会会員60名 開催(配布)予定数:1回開催、福岡県</p>
	学校を舞台にした 健康管理	<p>公開シンポジウム「学校での早期発見、早期対応」 目的・内容:児童の学校生活を通して、早期に発見できる疾患や、早期に対応できる事柄を討論し、小児の健やかな発達を支援。2005年5月21日、熊本市で開催。 対象:日本小児神経学会会員および一般市民 開催(配布)数:1回開催、熊本県 効果:小児の健やかな発達のため、疾患の学校での早期発見、早期対応の必要性を訴えることができた</p>		

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題3）
-小児保健医療水準の維持・向上させるための環境整備-

団体名	17年度の取り組みテーマ	17年度の取り組み実績	18年度の取り組みテーマ	18年度の取り組み行動計画
財団法人 日本食生活協会	34	冊子「子どもの歯と食育～1歳6ヵ月児健康診査のために～」 目的・内容:1歳6ヵ月児健診時のために作成。1歳6ヵ月頃の食事と虫歯予防についてまとめる。 対象:1歳6ヵ月児とその親 開催(配布)数:8,000部	34	冊子「子どもの歯と食育～1歳6ヵ月児健康診査のために～」 目的・内容:1歳6ヵ月児健診時のために作成。1歳6ヵ月頃の食事と虫歯予防についてまとめる。 対象:1歳6ヵ月児とその親 開催(配布)予定数:8,000部
	34	冊子「子どもの歯と食育～3歳児健康診査のために～」 目的・内容:3歳児健診時のために作成。3歳児頃の食事と虫歯予防についてまとめる 対象:3歳児とその親 開催(配布)数:6,000部	34	冊子「子どもの歯と食育～3歳児健康診査のために～」 目的・内容:3歳児健診時のために作成。3歳児頃の食事と虫歯予防についてまとめる。 対象:3歳児とその親 開催(配布)予定数:6,000部

**健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題3）
-小児保健医療水準の維持・向上させるための環境整備-**

団体名	17年度の取り組み テーマ	17年度の取り組み実績	18年度の取り組み テーマ	18年度の取り組み行動計画
全国病児保育協議会	52,54,55,56,57	<p>第15回全国病児保育研究大会 目的・内容： 市民公開講座「地域で子どもが健康で幸福に育つための環境づくり」 行政説明(厚労省母子保健課) 基調講演「少子化社会対策の現状と課題」「必携・新病児保育マニュアルの主要な改訂点について」 シンポジウム「少子高齢社会での未来を開く-病児保育-地域で子どもが達が健康で輝いた生活を送るための環境づくり」 会頭講演「病児保育とそれをとりまく社会環境～連携と課題～」 基礎研修 ステップアップ研修 分科会「管理運営 地域連携・行政との関わり 運営 人材育成」「リスク管理・感染対策」「保育看護の必要性と質の向上」「家族・地域関係」「食育について」「遊び・レク活動実績」 対象：病児保育事業に携わる者(病児保育施設長・医師・保育士・看護師・教育関係者等) 約900名 開催(配布)数：1回開催 効果：市民公開講座で一般の方々にも聞いていただくことで究極の子育て支援「病児保育」をより広く知ってもらうことができた。また、病児保育に携わる年数に関係なく多岐に渡る立場と職種の人々が一同に会して意見交換することができた。</p>	52,54,55,56,57	<p>第16回全国病児保育研究大会 目的・内容： 基調講演「病児保育におけるリスクマネジメント」 会長特別講演「究極の育児支援病児保育の課題」 特別講演「大学病院小児科としてのアメニティへの取り組み」 教育講演「子どものトラウマ」「医療の安全・安心 実行委員長講演」 基礎研修「看護」「保育」「保育看護」「総論」 ステップアップ研修「あまえ療法」 研修講演「薬にまつわるリスクマネジメント」 一般演題：ポスター発表、分科会 行政説明：厚労省、大阪市 調査研究報告 なんでも相談 対象：病児保育事業に携わる者(病児保育施設長・医師・保育士・看護師・教育関係者・行政担当者等) 開催(配布)予定数：1回</p>
日本母乳哺育学会	28,33,34	<p>リーフレット「家庭の中での事故を防ごう」 目的・内容：家庭内における事故予防のための自己点検シートを作成 対象：育児サークル参加者 延べ約100名 開催(配布)数：育児サークル開催時配布。100部。</p>		

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題3）
-小児保健医療水準の維持・向上させるための環境整備-

団体名	17年度の取り組み テーマ	17年度の取り組み実績	18年度の取り組み テーマ	18年度の取り組み行動計画
(社)日本女医会			30,31,32,33,37,39,41,45,47,	講演会「21世紀の子どもために小児救急医療の整備と提言事業」 目的・内容:母親の育児教育を推進することにより、地域の医療従事者、保育者、役所関係など大きなサークル活動として地域に貢献する 対象:母親、看護師、保育士、救急隊員等150名 開催(配布)予定数:2回
全国母子保健推進員連絡協議会	15,19,31,33,34,35,39,43,44,50,51,52,53,54,55,56,57,58,63,66	「全国母子保健推進員連絡協議会活動報告会」の開催 目的:母子保健推進員の活動を周知することにより、子育て中の親子に寄り添う母子保健推進員の活動への理解を深め、育児不安の軽減へつながることを目的とする。 内容:全国の母子保健推進員の活動報告、厚生労働省母子保健課長講評、情報交換 対象:行政母子保健担当者、母子保健推進員協議会代表等112名 開催(配布)数:1回開催(奈良県) 効果:母子保健推進員活動の周知は子育て中の親子への支援につながるとともに、全国から関係者が集まることで意見交換の場ともなった。	9,10,15,19,33,35,39,43,33,50,51,52,53,54,55,56,58,66	全国母子保健推進員連絡協議会活動報告 目的:母子保健推進員の活動を周知することにより、母子保健推進員の活動への理解を深め、住民の育児不安の軽減へつながることを目的とする。 内容:全国の母子保健推進員の活動報告等 対象:行政母子保健担当者、母子保健推進員協議会代表、関係団体代表等150名 開催(配布)予定数:1回開催(高知県)
	2,3,9,10,15,19,34,50,51,52,53,54,55,63,66	「母子保健推進員研修会」への後援・協力 目的:市町村母子保健事業の促進と母子保健推進員の資質を図る。 内容:虐待予防、親と子のかかわり、思春期保健、母子歯科保健、食育などをテーマにした講演、シンポジウム、活動報告 対象:母子保健推進員、保健師、自治体母子保健担当者等4,150名 開催(配布)数:11回開催(佐賀県・富山県・山口県・茨城県・岐阜県・鹿児島県・新潟県・熊本県・沖縄県・長野県・宮城県) 効果:母子保健推進員の資質の向上と母子保健推進員・保健師等の連携を深めることに寄与	2,3,9,10,15,19,34,35,36,50,51,52,53,54,55,58,63,66	母子保健推進員研修会 目的:市町村母子保健事業の促進と母子保健推進員の資質の向上を図る。 内容:虐待予防、親と子の関わり、思春期保健、母子歯科保健、食育などをテーマにした講演、シンポジウム、活動報告 対象:母子保健推進員、保健師、自治体母子保健担当者等4,000名程度 開催(配布)数:12回開催(山口県・佐賀県・富山県・長野県・松江市・群馬県・長崎県・熊本県・栃木県・高知県・宮城県・沖縄県)

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題3）
-小児保健医療水準の維持・向上させるための環境整備-

団体名	17年度の取り組み テーマ	17年度の取り組み実績	18年度の取り組み テーマ	18年度の取り組み行動計画
	2,3,9,10,15,16,19,33, 34,35,40,50,51,52,53, 54,55,56,57,58,63,66	「地域母子保健福祉情報紙 母推さん-」の刊行 目的:地域母子保健の普及、母子保健推進員の資 質の向上を図る。 内容:厚生労働省・専門職の頁、地域母子保健活 動の実際等。 対象:都道府県・保健所・市町村・関係団体など 開催(配布)数:年12回、月1万部発行 効果:母子保健推進会議に協力し制作した本紙は、 情報収集、アイデアの提供にもなり毎号全国から 多くの反響が寄せられている。	34	歯科保健技術者研修会 目的:8020の達成には乳幼児期からの対策が重要 であり、関係者の資質の向上を図る。 内容:タバコと歯周病、学童期の歯科保健 対象:保健師、養護教諭、保育士、歯科衛生士等 400名 開催(配布)予定数:2回開催(鳥取県、青森県)
	34	「歯科保健技術者研修会」の開催 目的:健やか親子21、8020は住民が主体となって進 めるべき運動であり、その達成には支援する専門 職による一斉指導ができる母子保健の現場への応 用を欠くことはできないため。 内容:講演「自閉症と歯科保健」、「口腔がんと検 査」、「生活習慣病としての歯科疾患、そして全身と の関わり」 対象:保健師、養護教諭、保育師、歯科衛生士等約 400名 開催(配布)数:2回開催(鳥取県、青森県) 効果:歯科保健知識の普及と関係者の連携の強化 が図られた。	34	歯科保健研修会 目的:母子保健推進員等歯科保健専門職でない方 を対象に歯科保健知識の普及を図る。 内容:歯科保健からの虐待予防など 対象:母子保健推進員、保健師、自治体母子保健 担当者 開催(配布)予定数:母子保健推進員研修会に併設 して12会場で開催
	34	「母子歯科保健研修会」の開催 目的:母子保健推進員等歯科保健専門職でない 方々を対象に歯科保健知識の普及を図る 内容:妊婦と乳幼児への口腔ケア、乳幼児の発達と 歯科保健など 対象:母子保健推進員、保健師、自治体母子保健 担当者 開催(配布)数:13会場で開催(山口県、佐賀県、富 山県、石川県、鹿児島県、岐阜県、新潟県、熊本 県、和歌山県、茨城県、長野県、沖縄県、宮城県) 効果:母子保健関係者においても乳幼児期からの 歯科保健の重要性を認識する機会となり、意識も高 揚した。	2,3,9,10,15,16,19,33,3 4,35,40,50,51,52,53,5 4,55,56,57,58,63,66	地域母子保健福祉情報紙 母推さん-の発行 目的:地域母子保健の普及、母子保健推進員の資 質の向上を図る。 内容:厚生労働省、専門職の頁、地域母子保健活 動の実際、活動している人の声等 対象:都道府県・保健所・市町村・関係団体等へ毎 月10,000部発行 開催(配布)予定数:年12回(毎月1日発行)

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題3）
-小児保健医療水準の維持・向上させるための環境整備-

団体名	17年度の取り組みテーマ	17年度の取り組み実績	18年度の取り組みテーマ	18年度の取り組み行動計画
財団法人児童健全育成推進財団	33,39	冊子「家庭における子どもの事故防止のためのチェックリスト」 目的・内容:家庭内における事故予防のための冊子を作成した。 対象:全国の児童館約4,700ヵ所 開催(配布)数:5,000部。 効果:児童館等で活用され、家庭内での事故防止に一役買った		
健康日本21推進フォーラム			34	「健康日本21リーフレット」 目的・内容:歯科医及び歯科衛生士に対し、幼児期におけるう歯予防の重要性を啓発し、患者指導に活用いただく 対象:日本歯科医師会会員 開催(配布)予定数:70万部
財団法人 母子健康協会		小児医学研究助成 趣旨:小児医学研究分野における研究を推進し、小児医学の進歩に寄与することを目的とする。 助成月日:平成17年11月1日 研究期間:平成17年11月～平成18年10月対象課題 小児医学に関連する研究で小児の増進、疾病の予防と治療に役立ち得るものとする。 対象者:大学、研究所、病院に所属する小児医学分野の研究に従事する50歳未満の研究者とする。 対象:件数10件総額 1300万円 開催(配布)数:毎年1回募集 効果:今回は応募総数67件(対象機関110ヵ所)で質の高いテーマが選ばれた。研究成果が期待できる。		小児医学研究助成 趣旨:小児医学研究分野における研究を推進し、小児医学の進歩に寄与することを目的とする。 募集月日:平成18年6月対象課題 小児医学に関連する研究で小児の増進、疾病の予防と治療に役立ち得るものとする。 対象者:大学、研究所、病院に所属する小児医学分野の研究に従事する50歳未満の研究者とする。 開催(配布)予定数:件数12件前後総額1300万円
		小児医学研究助成報告書の発行 趣旨:助成した小児医学研究の成果を小冊子にまとめ情報提供を行う。平成15年度 第16回医学研究報告書 平成17年5月31日発刊部数 300部 対象:全国の主要な大学研究機関110ヵ所に贈呈 効果:研究成果情報の共有化が図れる		小児医学研究助成報告書の発行 趣旨:助成した小児医学研究の成果を小冊子にまとめ情報提供を行う。 平成16年度第17回医学研究報告書 平成18年5月 発刊部数:300部 対象:全国の主要な大学研究機関110ヵ所に贈呈

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題3）
-小児保健医療水準の維持・向上させるための環境整備-

団体名	17年度の取り組みテーマ	17年度の取り組み実績	18年度の取り組みテーマ	18年度の取り組み行動計画
		<p>シンポジウム「保育における歯の問題と対応」開催 趣旨：保育園・幼稚園の先生への啓蒙として保育園・幼稚園の先生方を対象したシンポジウムを開催し、小児医学・教育に関する啓蒙を行う。シンポジウム内容は、機関誌「ふたば」ホームページに収録し、広く情報提供する。 開催日時：平成18年1月19日（木）14時～17時 会場：アルカデア市ヶ谷（東京都千代田区） 講師：前川喜平（東京慈恵会医科大学名誉教授）前田隆秀（日本大学小児歯科教授）井上美津子（昭和大学小児歯科助教授） 対象：受講者数129名（都内保育園・幼稚園の先生） 開催（配布）数：年1回東京地区 効果：参加者の殆どが有意義なシンポジウムであったとアンケートで答えており、それを裏付けるように活発な質疑応答があった。本年よりホームページに詳細内容を掲載しており、全国の保育関係者でも活用が期待できる。</p>		<p>シンポジウム開催 趣旨：保育園・幼稚園の先生への啓蒙として保育園・幼稚園の先生方を対象したシンポジウムを開催し、小児医学・教育に関する啓蒙を行う。シンポジウム内容は、機関誌「ふたば」に収録し、広く情報提供する。 開催日時：平成19年1月 会場：東京都内 *シンポジウムの詳細内容を機関誌・ホームページで紹介 対象：都内保育園・幼稚園の先生 開催（配布）予定数：年1回東京地区</p>
		<p>機関誌「ふたば」発行 趣旨：保育園・幼稚園の先生方を対象した機関誌「ふたば」を発行し、小児医学・教育に関する啓蒙を行う。 発行月日：平成17年11月 発行部数：31,400部 内容：B6版 67頁 「タッチケア」「乳幼児のSHAKEN BABY症候群」「少子化社会における小児医療」等 対象：全国の主要な保育園・幼稚園 30600ヶ所に贈呈 開催（配布）数： 効果：小冊子であるが、内容が充実していて教科書代りに活用して頂いている。本年よりホームページに全文を掲載しており、全国の保育関係者の活用が期待できる。</p>		<p>機関誌「ふたば」発行 目的・内容：機関誌「ふたば」を発行し、小児医学・教育に関する啓蒙を行う。 発行月日：平成18年11月 発行部数：31,400部 内容：B6版 70頁 *記事の全文をホームページで紹介 開催（配布）予定数：全国主要な幼稚園・保育園 30600ヶ所に贈呈</p>